

# Gyro <sup>ジャイロ</sup> がんばろう 福島

(財) 福島県国際交流協会 創刊号

※本紙の英語版・中国語版は、当協会HPでダウンロードできます。

平成 23 年 5 月 1 日発行



この度の東日本大地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

福島県国際交流協会は、震災及び原子力災害後の福島県の現状や、がんばっている国際交流団体や外国出身県民の様子などを県内外、国内外に発信していきます。



(写真左) 桜が満開の福島市内の風景

(写真右) いわき市小名浜災害ボランティアセンターに届けられた救援物資



## 理事長あいさつ

この度の東北地方太平洋沖地震と津波で多くの尊い命や財産を失い、さらに原発の事故による甚大な被害を被りました皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災された方々をはじめ県民の皆さんの思いを考えると、一刻も早い原発事故の収束と被災地域の復興を願うばかりです。

福島県国際交流協会では、災害発生直後から県国際課とともに、「外国語による地震情報センター」を立ち上げ、外国出身県民への英語や中国語などによる情報提供と相談に務めてまいりました。

これからも、日本語の理解が不十分なことなどから、より大きな不安を感じている外国出身県民にできる限りの安心を届けるため、行政や民間国際交流団体等とも手を携えて、様々な支援に取り組むとともに、当協会の新しいキャッチフレーズ『心と心でつながる、世界に開かれたふくしま』の実現を目指してまいります。

県民の皆さん、そして国際交流のために様々な活動を行っている皆さん、この未曾有の災害、原発事故から福島県を必ず復興させましょう。

平成 23 年 4 月 理事長 山川充夫



## 原子力被害、放射能に関する知識

福島県HP（福島県国際交流協会HPへリンク）では、「環境放射能測定結果(暫定値)」や「飲料水(水道水)環境放射能測定結果(暫定値)」を日本語、英語、中国語で、県国際交流協会HPでは、それらに加え、タガログ語、韓国語、ポルトガル語で随時更新しています。 <http://www.worldvillage.org/>

以下、放射能に関する主な質問について福島県HPから抜粋して掲載します。

<http://bit.ly/hsYy1a>

**【Q1】** 飲み水も味噌汁にまでもミネラルウォーターを使っています。野菜を洗うのも怖いのですが、どう対応すべきでしょうか？

(A1) 基準値以上の放射性ヨウ素が検出された水は飲まない、飲ませない、というのは賢明な選択でしょう。ただし、それでも、数回飲んでしまったからといって心配する必要は、今の放射線レベルならまったくありません。野菜を洗ったり、顔を洗ったり、お風呂に入ったり、と生活用水に使うのはなんら心配いりません。

**【Q2】** 小学生の子供がいる。外で遊ばせても大丈夫なのでしょう？洗濯物も外で干していいのでしょうか？家には24時間換気システムがついているのですが、切ったほうがいいのでしょうか？

(A2) 1時間当たりの環境線量が10マイクロシーベルト以下であれば、もう外で遊ばせて大丈夫です。ただし、指についた土をよく洗わせたり、来ていた上着のホコリを払わせたりしたほうがよいかもしれません。洗濯物についても、取り込むときに少し丁寧にホコリを払う程度で問題ありません。布団干しも同様に大丈夫です。換気についてもシステムを切ったりナーバスになる必要はありません。

※1 ミリシーベルト=1,000 マイクロシーベルト

(発行者追加記載)※胃のX線集団検診1回当たりの放射線量は、600 マイクロシーベルト/回

手塚玲子さん(福島市)

当協会多文化共生サポーターである中国出身の手塚さんは、ご自身も福島市内に家族とお住まいで、断水などで何かと大変な中、震災後にオープンした「外国語による地震情報センター」で、県災害対策本部から出される様々な情報を中国語に翻訳するとともに、中国語による相談に応じてくれました。

誰も体験したことのない大地震と津波、原発、そして度重なる余震という誰でも不安で仕方がない時に、手塚さんの前向きな姿勢と笑顔には相談者も助けられました。



在日本大韓国民団福島県地方支部 (郡山市)

福島県内に在住する韓国出身者や韓国人旅行者のサポート及び韓日交流等を行っている当本部は、いち早く県内の団員の安否確認をするともに、24時間の韓国語による相談窓口を開設しました。また、東京の同組織から届いたペットボトルの水やレトルトごはん、韓国のりなどの支援助資を、いわき市と福島市の役場そして、ビッグパレットふくしまに届けました。

特になかなか食べられない韓国のりは、入所者の皆さんにさぞかし喜ばれることでしょう。



<http://www.mindan.org/>

NPO 法人ザ・ピープル(いわき市)

いわき市を拠点に古着リサイクルを通して、環境、障がい者自立支援、国際協力など多角的に市民活動を展開しているザ・ピープル。震災後から、水が出ない、ガソリンがないなどのないないづくしの環境の中でも、古着や生活用品を避難所に配ったり、風評被害にあっている農家と避難所での野菜不足の現状をマッチングさせたりと、日頃の国際協力活動で培ったボランティア精神とバイタリティ、機動力が集結した活動を、いつもお世話になっているいわき市民のために展開してきています。会のキャッチフレーズ『元気な街には、元気な主張を続け、元気に行動する 市民がいる』を文字通り実行しています。なお、4月19日には「いわき市小名浜地区災害ボランティアセンター」を立ち上げました。 <http://www.iwaki-j.com/people/>



お知らせ

『外国語による地震相談センター』

福島県国際交流協会では、英語と中国語で、震災に伴う様々な相談に応じています。その他の言語は、他の相談機関をご紹介しますので、お気軽にお問い合わせください。

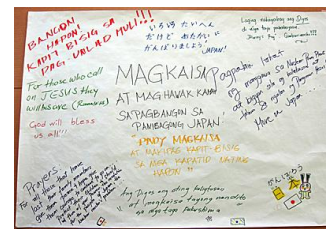
- 時間：毎日9時～16時
- 電話：024-524-1316(専用)、024-524-1315
- URL：<http://www.worldvillage.org/>
- E-mail：[info@worldvillage.org](mailto:info@worldvillage.org)



当協会のメッセージ



台湾から届けられた応援メッセージ



在福フィリピンの方からの応援メッセージ

発行者

(財) 福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail [info@worldvillage.org](mailto:info@worldvillage.org) URL <http://www.worldvillage.org>